時事新報

第千三百號
明治十九年六月十二日　土曜日
舊丙戌五月十一日（癸卯）
日出午前四時四十五分　入午後七時十五分
月出午後二時五十三分　入午前二時四十六分
潮滿午前一時十四分　午後一時四十八分
（西曆一千八百八十六年）

時事報概

工事受負に就ての術數

金を儲けんとするは世界一般の人情にて正道の射利も亦敢て咎むべきに非ず然れども之を求むるに正道を以てするか不正の手段に出でんとするかは其人の心に在り而して其心の如何は其人の行為に現はるゝものなれば人の行為を見れば其心の如何も知るべきなり故に人の行為を見て其心を察するは人事の最も緊要なる者なり然るに人の心は見え易きが如くにして見え難きものなれば其行為を見るも其心を察すること甚だ難し故に人の行為を見て其心を察するの術を知らざれば人を知ること能はず人を知ること能はざれば人を用ゐること能はず人を用ゐること能はざれば事業の成功を期すること能はざるなり

人を知るの術は古今東西を問はず其の難きこと一なりと雖も其の最も難きは工事受負に就ての術數なり何となれば工事受負に就ての術數は人の心の最も奥深き所に潜伏して容易に其の形を現はさゞるものなればなり

工事受負に就ての術數は其の種類甚だ多しと雖も其の最も普通なるものを擧げて之を論ずれば左の如し

第一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第二十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第二十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第二十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第二十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第二十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第二十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第二十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第二十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第二十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第二十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第三十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第三十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第三十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第三十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第三十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第三十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第三十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第三十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第三十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第三十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第四十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第四十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第四十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第四十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第四十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第四十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第四十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第四十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第四十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第四十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第五十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第五十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第五十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第五十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第五十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第五十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第五十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第五十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第五十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第五十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第六十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第六十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第六十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第六十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第六十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第六十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第六十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第六十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第六十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第六十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第七十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第七十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第七十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第七十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第七十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第七十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第七十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第七十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第七十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第七十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第八十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第八十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第八十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第八十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第八十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第八十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第八十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第八十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第八十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第八十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第九十　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第九十一　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第九十二　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第九十三　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第九十四　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第九十五　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第九十六　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第九十七　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第九十八　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

第九十九　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を低くするの術數

第百　工事受負人が其の工事を落札せんが為めに入札の際に於て故らに其の入札の價格を高くするの術數

雜報

○軍艦入港　英國軍艦チーデンス號リーインドル號リンチット號は去月三十日福州より長崎港に來着せり（長崎縣報告）伊太利國軍艦ハーロオース號は同日午後第四時皆下門司港へ投錨せり（福岡縣報告）

●虎列刺

月日	新患者	死亡者
流行地		
六月九日	八十一人	六十六人
大阪府	十三人	五人
（但シ四區西成郡三新島四十三人新患死亡四十五人）		
京都府（電報未着）		
兵庫縣同上		
岡山縣	二十六人	十八人
同		
廣島縣（電報未着）		
和歌山縣		
同		
愛媛縣（電報未着）		

○流行地外虎列刺　滋賀縣本月四日五日新患六人、內死亡一人、山口縣本月二十日より同二十八日迄新患九人、新舊死亡六人あり（各縣外二縣報告）

○山梨縣虎列刺發生　山梨縣下第七日野一人虎列刺に罹り調中なり但し他に傳染せる模樣なし（山梨縣報告）

○三重縣虎列刺發生　三重縣下第九日野兒一人特發類似虎列刺にて死亡せり（三重縣報告）

○露西亞朝鮮國條約　頃日司法大臣は外務大臣より朝鮮國條約及附錄幷に特別約定書の寫を送附し來れるに付之を檢閱し其改良に關して意見を具申する部分丈けは別紙一覽表の通り添付して他は總て總理衙門の原案に於て可なりと認めたる旨を以て之を外務大臣に回答したりと

○露西亞皇帝波蘭國王某閣下及其ノ他ニ君タル朕あるを知さんとする第三世爵ニ該有衆ニ宣布ス朕及朝鮮國王陛下ノ承諾ニ由リ兩國ノ委員ハ千八百八十四年七月七日京城ニ於テ左ノ通商條約ヲ締結シ各之ニ記名調印セリ

全露西亞國皇帝及朝鮮國王兩陛下ハ兩國ノ間ニ永久ノ平和親睦ヲ保持シ貿易條約ヲ締結センコトヲ欲シ露國皇帝陛下ハ露國五等官神爵ヲ有スルニ依テ朝鮮國王陛下ハ朝鮮國外務衙門總理大臣金炳始ヲ全權委員ニ任シ雙方ノ委員互ニ委任狀ヲ示シ其ノ狀實適良ナルヲ認メ左ノ條款ヲ合議決定セリ

第一款　全露西亞國皇帝及朝鮮國王幷ニ兩國人民間ニ今ヨリ永久ノ平和懇親アルヘシ且兩國ノ人民ハ各彼此ノ領內ニ於テ其ノ生命及財產ノ保護ヲ受クルノ權利アルモノトス

第二款　締盟國ノ一方ニ於テ他國ト何ニ紛議爭論ヲ生シタルトキハ其ノ請囑ニ由リ他ノ一方ニ於テ之カ紛議ヲ平和ニ完了スルニ盡力スヘキモノトス

第二條

第一款　締盟國雙方ハ其ノ一方ノ國都ニ自國ノ外交理事官ヲ任置シ又爾他諸國領事官ノ駐在セル開港場ニ總領事、領事、副領事ヲ任置スルコトヲ得但シ右諸員ニハ爾他諸國ノ外交理事官及領事官等ニ許與セルモノト同一ノ權利及特典ヲ互ニ許與スルモノトス

第二款　締盟國雙方ノ外交理事官及領事官幷ニ附屬員等ハ互ニ駐在國ノ領內ヲ旅行スルコトヲ得但シ朝鮮國ノ內地ニ旅行スル露國人ニ對シ朝鮮國官吏ヨリ旅券其ノ他必要ノ場合ニハ護衛者ヲ附從セシムルモノトス

第三款　締盟國雙方ノ領事官ハ各本國政府ノ委任狀ヲ駐在國ノ政府ニ呈示シ之カ承諾ヲ經タル後其ノ職務ヲ執行スル權利ヲ得但シ貿易ヲ營ムコトハ一切之ヲ禁ス（未完）（以上本年六月十一日官報）

雜報

○醇親王の眞率　醇親王が先頃汽船海晏號にて北洋を巡視中或日の事なり王親は生來始めて汽船に乘られしとおぼしく見るものとして珍らしからざるは勿く我知らず艙中を彼方此方行廻りて遂て二等機關手の室ゟ到りしとき室の戶は開き居りて其側に一本の圖扇ありければ親王は之を把りて自ら扇ぎ夫より親王の室ゟ持歸り自ら蒙古文字にて右語と其上ゟ書し李鴻章氏をして之を支那語に譯して其傍に書せ玄免通辨官の一人に命ぜて之と前の機關手に返さしめけるが右の通辨人は若し淸國社官吏が此圖扇を所持せんかは數千兩ゟ百兩ゟ位に當る寺略妙計の圖書ゟ何して可ゟらん唯ゟの事ゟ名手ゟ窘めらるゝなりふんと欲する者ゟ自ゟら其工事の性質難易を知るのみならず仮に我身を受負人の地位に置き寺略妙計の圖書ゟ學ぶ可し受負の術數を防がんと欲する者ゟ自ゟら其工る可きあり我政府の筋にも受負人の地ざる可らざるが如く事ゟ其注文ゟ聽ざる可らざるが如く事ゟ其注文ゟ聽ざる可らざるが如く事ゟ其注文ゟ聽